

## 建築研究所・政策研究大学院大学主催 セミナー「日本の住宅・建築・都市が直面する中長期的課題と解決方策(Ⅱ)」 ご案内

日本の住宅・建築・都市は、「低環境負荷・持続可能」、「安全・安心・快適」、「少子・高齢化対応」など、多くの中長期的な実現課題に直面しています。本セミナーは、建築・住宅・都市に関する政策の理論・実証分析や、建築・まちづくり実務での政策立案・事業推進手法に関する研究成果を持ち寄り、中長期的課題の解決方策を考えるために開催します。

開催日時 2013年2月18日(月) 13:30~16:40

会場 政策研究大学院大学・1階会議室 A・B・C

<http://www.grips.ac.jp/about/access/>

主催 独立行政法人建築研究所・国立大学法人政策研究大学院大学

参加費 無料

申込方法/問い合わせ先 氏名・所属・役職・連絡先をご記載の上、下記宛てメールにてお申し込み下さい。また、本件に関する問い合わせも、下記宛メールにてお願いいたします。  
政策研究大学院大学 久米 E-mail : kume@grips.ac.jp

### プログラム

	時間	演題	概要	講師
1	13:30	開会		
2	13:35 ~ 14:25	講演 「防災型土地利用規制と保険制度」	近年、地球規模で気候が不安定化し風水害への脆弱性が高まっていると言われている。にもかかわらず、今後の少子高齢化の進行により我が国で防災投資を伸ばしていくことは容易ではない。他方、人口減少は土地開発圧力の低下を意味し、土地利用規制により自然災害リスクを低減させていく可能性も考えるべき時期に来ているともいえる。諸外国では情報開示や保険を組み込んだ総合的な防災型土地利用規制を行っているところがあり、それらの特徴を理解するとともに、我が国への政策的な示唆を考える。	吉田 恭 政策研究大学院大学教授
3	14:25 ~ 15:05	講演 「都市構造の簡易な評価指標と可視化手法に関する研究」	安全・安心で快適な都市を実現するためには、現在の都市構造の状態を把握し、その問題点を捉えるためのツールが求められる。そこで、市町村の都市構造に関する様々な統計指標から、人口の集積度合いや商業・業務の集積度合い、高齢者の公共交通利便性などに関する簡易な評価指標を作成するとともに、それらの指標と都市構造を可視化する図面を作成した。関東地方の都県を対象にそれらを「都市構造カルテ」としてとりまとめ、都市間比較ができるようにした。	石井儀光 独立行政法人建築研究所住宅・都市研究グループ主任研究員
4	15:15 ~ 15:55	講演 「建物緑化の評価について」	近年の建物緑化の普及にまつわる現状と、普及のために適正な評価の必要性を説明する。併せて、実際の建物緑化の評価結果から、都市環境を向上させるために必要な、建物緑化整備の戦略の方針について論ずる。	加藤真司 独立行政法人建築研究所住宅・都市研究グループ上席研究員
5	15:55 ~ 16:35	講演 「再開発・マンション建替推進の制度的課題と実証分析」	都市部市街地においては、良質な住宅・建築・都市ストックの維持・再生のためにも再開発・マンション建替を推進していくことが課題となっている。これら事業を阻害する制度的な要因を抽出するとともに、制度改善効果を計測する手法を提示する。	久米良昭 政策研究大学院大学教授
6	16:35	閉会		